

熊盲ガイド 1 視覚障がいとは ～点字について～

点字

点字は、読書・学習・コミュニケーションの手段として用いられるほか、資格取得や進学・就職のための点字受験など、視覚障がい者やそれを取りまく人々の間で“最も有効な文字”として広く用いられている。また、公共の施設や街の中に、各種の点字サインが普及しつつあり、単に視覚障がい者にとっての情報源としてだけでなく、視覚障がい者に対する社会の関心を高めることにも役立っている。

点字の歴史

点字は、ルイ・ブライユ（Louis Braille 1809～1852年）によって、1825年に考案された文字である。そして、1854年にフランスで採用されたのを皮切りに、次第に各国で用いられるようになった。日本の点字は、東京盲啞学校の教員石川倉次（1859～1944年）によって翻訳され、1890年に制定されたものである。

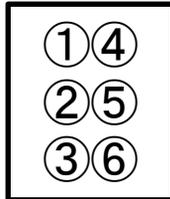
点字の構成

(1) 点字の配列

点字は横書きで、書くときは右から左へ書き、読むときは左から右へ凸面を読む。

点字の1つの単位である1マスは、縦3点が横に2列並んだ6点から構成されている。

点の位置は、読むとき（凸面）には、左上から①の点、②の点、③の点、右上から④の点、⑤の点、⑥の点と呼ばれる。



ア	イ	ウ	エ	オ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
カ	キ	ク	ケ	コ	マ	ミ	ム	メ	モ
サ	シ	ス	セ	ソ	ヤ	ユ	ヨ		
タ	チ	ツ	テ	ト	ラ	リ	ル	レ	ロ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	

撥音符(ン) 促音符(ツ) 長音符(ー) 【点字 五十音表】

生活の身近なところにある点字

(1) 駅の案内

・構内案内・・・触知図案内板や点字運賃表などがある。

※駅構内では、触地図案内板や階段の位置を案内する誘導チャイムがあり、常時鳴るものやセンサー感知で鳴るものがある。

・列車乗り口の案内・・・ホーム階段の手すりに列車の番線や出口などが表記してある。

・新幹線内の案内・・・座席の配列を乗降口の手すりに表記してある。

(2) トイレの案内

・トイレ案内図

・「流す」「非常ボタン」などのボタン

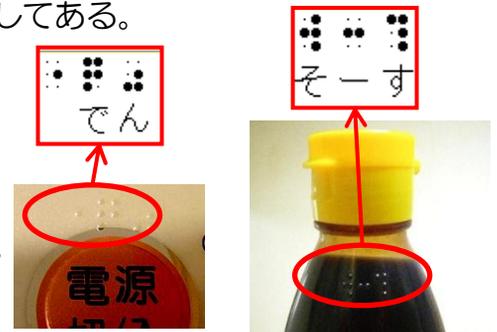
・ウォッシュレットのボタン

(3) 飲食物パッケージ・日用品

・アルコール飲料水・・・「おさけ」と点字で表記してある。

・ソースの容器・・・「ソース」などと表記してある。

・洗濯機や炊飯器などのボタン



※ここに紹介しているもの以外にも、点字表記はたくさんあります。探してみてください！

参考文献:「点訳のてびき第3板」特定非営利活動法人 全国視覚障害者情報提供施設協会

次回の熊盲ガイド・・・全盲児の学習について